

デーリー東北
2025年(令和7年)4月11日(金曜日) (12)



会見で意気込みを語る本多進司氏(10日、八戸市)

大部
工カ一
ハサッ
監督に本多氏(工大二
高 出)

JFLソニー仙台を指揮

八工大は10日、同大サッカー部の監督に、日本フットボールリーグ(JFL)のソニー仙台(現在は解散)を指揮した旧南郷村(現八戸市)出身の本多進司氏(47)＝工大二高出身＝が、1日付で就任したと発表した。チームは今後、全日本大学サッカー連盟に登録し、東北大学リーグへ参入する意向。本多氏は、選手と一緒に一からサッカー部を築き上げながら、地域への貢献にもつながってほしい」と意気込みを語った。

旧市野沢小時代にサッカーは始めた本多氏は、東京学芸大を経て2001年4月からソニー仙台に所属し、FWとして活躍。引退後はスタッフやコーチとして後進の育成に尽力し、18年からは監督も務めた。

かつて八工大サッカー部は、大所帯で活動し各種大会にも参加。ただ近年は学生の減少もあり、部としての活動は停滞気味で、部員数人が社会人リーグのチームに参加する状況となっていた。

同大は近年、魅力ある学校づくりに向け、運動部の強化を実施。サッカー部は長らく学生中心に活動していたこともあり、地元出身の本多氏に

白羽の矢が立った。10日、同大で会見した本多氏は「いつか自分を育ててくれた青森のサッカー界に恩返しをしたかった。『その時が来た』という思いがある」とこみ締める。

チームの今後については「現在2、4年生11人の少人数という状況なので、まずは一歩ずつ足元を固めるところから始めたい」と強調。「攻撃的なスタイルが好きなので、将来的には自分たちで主導権を握るアグレッシブなサッカーを披露できれば」と展望を語った。(小嶋嘉文)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。